

高圧ガス保安のスマート化に向けた検討について

- 平成27年3月に開催された産業構造審議会保安分科会の議論を受け、以下の項目について、3つの方針の下、高圧ガス保安規制の見直し（高圧ガス保安のスマート化）を行った。

1. 自主保安の高度化を促す制度へ

- ① 認定制度における優遇措置の拡充やすそ野の拡大（**新認定事業所制度の創設**）
- ② **リスクアセスメント・ガイドライン**の作成・公表
- ③ **人材育成プログラム**の作成・公表

2. 新技術等への対応を円滑化する

- ① 国内規格（JIS等）や国際・海外規格（ISO、ASME等）をスムーズに取り入れ、活用できる仕組みを構築（**ファスト・トラック制度の創設**）
- ② 水素ステーション・燃料電池自動車の普及に向けた規制見直し
- ③ 災害発生時の**リスクに応じた規制対象の再検討**（災害発生時のリスクの小さい製品等）
- ④ **新冷媒**の普及に向けた**規制見直し**

3. 安全レベルの維持・向上を前提としたコストの合理化

- ① **事故報告の見直し**
- ② 高圧ガスの製造許可申請等に係る**添付書類の省略**
- ③ 重大事故等における**合同ヒアリング・注意喚起**の実施